

的確な経営方針・経営戦略の策定のために
経済の現況と企業の針路

経営・マネジメント

2020年の経営戦略を読む

2部構成で自社の経営方針や経営戦略の策定・検討の参考となる最新情報と分析を提供します

セミナーのねらい

2020年を迎えるにあたり、本講座は2部構成で自社の経営方針や経営戦略の策定・検討の参考となる最新情報と分析を提供します。

第1部では景況の包括的な展望をお示しします。環境認識として重要なのは、ものごとが「決まらない時代」であること。「米中等の貿易摩擦の行方はどうなるか」「英国のEU離脱はどのようなかたちになるのか」「日銀は量的緩和を続けるのか」等々、景気の前提となる政策(=環境)の着地が見えてきません。一方で国も中央銀行も、経済環境に適応するので、政策と景気の言わば「せめぎ合い」を理解することが的確な予測につながります。例年通り、包括的な展望と分野別の見直しをお示しします。

第2部ではこの「決まらない時代」に対処するための経営判断・戦略立案の方法論を解説します。戦略は何もないところから生まれるのではなく、いくつかの可能性の中から選択するものなので、「質の高い選択肢を発見できること」「その中からの選び方が的確であること」が重要です。そのための方法(ツール)をお示しします。

武藤 泰明 氏

早稲田大学教授

1980年東京大学大学院修士課程修了、三菱総合研究所入社。同社主席研究員を経て2006年より早稲田大学スポーツ科学学術院教授。NPO法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会理事、独立行政法人鉄道・運輸機構特別顧問なども務める。

著書は『ビジュアル経営の基本』『Q&A経営100の常識』『持ち株会社経営の実践』『経営用語辞典』(以上、日本経済新聞出版社)『プロスポーツクラブのマネジメント』『ファンド資本主義とは何か』(以上、東洋経済新報社)『グループ経営7つの新常識』(中央経済社)『人手不足時代の人事戦略』(日本能率協会マネジメントセンター)『未来予測の技法』(PHP研究所)など多数。



プログラム

第I部 2020年の経営環境

- 総論:経済大国の不透明感…理由と影響
- 分野別展望

第II部 「決まらない時代の戦略立案」

- リアル・オプション
- 最適フロンティア
- おわりに:複合事業の合理性

日時

2019年12月24日(火)

13:00～17:00

会場

日本経済新聞社6階
「日経・大手町セミナールーム1」
(日経カンファレンス&セミナールーム内)

受講料

35,200円(税込み)

対象者

マネージャー、リーダー、経営者、
経営幹部、次世代幹部、新任、部長、課長、
中堅、若手、執行役員、事業部長

レベル

基礎

WEB検索番号:P1901830